

第2学年 食育 学習指導案

1. 題材名 「食育」

2. 題材設定の理由

○題材観

「食」は人間の持つ基本三大欲求の一つであり、人間がこの「食欲」を満たそうとする限り、人の生とは切っても切り離せず、それ故「食」の質は非常に重要となる。ここに挙げたテーマ「食育」は「食」の質について学ぶもので、この根本的な意味は深くまたその分類はかなり多岐にわたる。ここでは、今身近にあるさまざまな問題と少し気を付ければ解決できる日常的な事柄などを取り上げ、そこから将来的な展望へと発展させることができればと考える。

○指導観

この「食育」の授業を受ける対象は女子生徒であるが、生活様式や様々な家庭環境から日常的に乱れた食生活を送っている生徒も少なくない。そうした生徒たちにこの「食育」を通じ、今の自分の食生活がどういったものなのかを客観的に振り返らせ、またそのような食生活を続ければ今後どういう弊害を及ぼすのかを提示するとともに、その改善と解決策を考えさせるものである。さらに女性という立場から将来子どもを産み、母となることも踏まえ、今の食生活が自分の子どもにどのような影響をもたらすか、また生まれた子どもにどのような食生活を送らせるべきかを考えさせることは大変意義深いと考える。

「食」というのは誰もが営む、人が人らしく生活していく上でもっとも基本的かつ重要な習慣である。それ故一度その習慣が固まればそれを変えるのはなかなか困難である。したがって、ここで日常の食生活を見つめ直す必要があると考える。現状を見つめさせ、そのどこに問題点があり、対する解決策はどのようなものか、各自考えさせた上で判断させたい。そして、それらを改善するために毎日の少しずつの努力の積み重ねがどれほど大切なことかを伝えていきたい。

3. 目標

- 正しい「食」に関する知識を身に付けさせ、健康的な生活を営むための「食」生活を考えさせるとともに実行させる力を養う。
- 自らが女性であることを強く意識し、女性としての立場から「食」との関わりを将来の展望までを含む形で考えさせる力を養う。

4. 指導計画 単元の配当時間 1時間

5. 指導上の留意点

- 生徒は様々な家庭環境のもとで生活しており、決して一様ではない。これを踏まえ誰もが自らの力で「食」生活の改善に取り組めるよう発言等に配慮しながら指導する。
- 現代の「食」生活がかかえる問題点には、今の若い世代がよしとする価値観と一致するものがあるので、安直にそうとらえさせないよう指導する。

6. 教材

生徒：プリント

教師：パワーポイントによるプレゼンテーション・スライド

7. 過程

	学習活動・内容	指導上の留意点	教材	配時	形態	評価
導 入	挨拶および出席確認	出席を確認し、授業の体制を整えさせる。		3分	一斉	(1)
	食育に関する認知と本時の学習内容を確認	「食育」という言葉を知っているかどうかを尋ね、挙手によって答えさせる。その後、その結果を踏まえ、本時の学習内容の概略を伝える。	P・P	3分		
展 開	VTRを見る。	今後の展開の基礎となるので集中して見るように指導する。	VTR	22分	一斉	(1) (3)
	現代の小学生の実態を踏まえ、現代の「食」の乱れについて考える。	VTRで紹介された現代の小学生の食生活を例に挙げ、今回のポイントを押さえ、決してVTRの中だけの話ではなく、今の自分や身近に起きているものとしてとらえさせる。	P・P	5分		
	将来妊娠し母になったときの「食」について考える。	VTRの内容を受け、発展させて考えていく内容である。現在の「食」生活が妊娠したときに、その子どもに対しどのような影響を与えるのかを考えさせる。また、前述部で押さえたポイントを今度は自分が母になったときに、自分の子どもにどう実践していくか考えさせる。		7分		
ま と め	各班で感想や意見を述べ合い、各自で感想をまとめる。	問いかけに対して互いに意見を率直に出し合い、人の意見を聞いて自分の意見をまとめる。		10分	各班	(1) (2) (3)
評 価	<p>(1) 「食」について関心を持ち、その改善(向上)を目指して自主的・積極的・意欲的に取り組もうとしている。【関心・意欲・態度】</p> <p>(2) 現在の「食」生活の問題点の解決に自ら思考を深め、習得した知識を活用して適切に判断し創意工夫をする能力を身に付けている。【思考・判断】</p> <p>(3) 「食」についての知識を身に付け、「食」についての必要性や意義(役割)を理解している。【知識・理解】</p>					